

錦江に生きている

にじゅうきゆうにん目

もりみつ 森満
あきひろ 章浩さん

(神川上自治会)



お気に入りのサニートラックとお気に入りのポーズで（実は前歯が無いのを隠している）



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていこうと頑張っている若者を中心に紹介していきます。
第29回目は、神川上自治会の森満章浩さんです。

休日の午前中、約束の時間に自宅を訪ねると、ガレージから流れるレゲエミュージックに合わせて、体を揺すりながら車を洗う森満章浩さんの姿があった。

章浩さんは地元に戻ってきて6年の29歳。高校卒業後、福岡で建築関係の専門学校を経てそのまま福岡県内に就職をした。しかし、あまり楽しくはなかったのだそう。その理由を章浩さんは、「あんまり働くのが好きではなかったので、何度か職を変えたんです。自分で何をしたいのか、将来どのようなになりたいのかわからなくなりました。」と話した。続けて、「このままではいけない。根を生やして何かをしなければ!」と思い帰ってきました。」と当時の自分を振り返った。

現在の章浩さんは、町内の建設会社に就職し青年団活動などに積極的に参加している。団長時代には、「花瀬に花を咲かせよう」という、若者の出会いイベントを開催、6組のカップルを誕生させた。また、ここ2年は夏に「錦浜ドッグボール」を開催し、神川海岸のPRに一役買っている。そんな章浩さんに、青年団活動を一生懸命頑張っているんですね。と問いか

けたら、「いや、適当ですよ。ははっ」と笑った。拍子抜けしている。「肩肘張らずに自然体でやらないと!」章浩さん。「僕には町を変える、町を良くする器なんてないんです。気負ってしまうと何もできなくなってしまうかもしれない。だから、自分の出来ることだけ頑張るんです。」と話した。そんな考えを持っている章浩さんがとても大きな存在に思えた瞬間だった。

章浩さんに夢を訊ねると、「笑って死にたいんですよ。その為に、今を楽しんで一生懸命頑張ることが夢に近づくんじゃないかと思ってます。」と返ってきた。不思議な章浩ワールドに引き込まれていく感覚に襲われた。

最後に一言お願いすると、「錦江町は、何より人が温かくて優しい。そんな町に人が集まってこないのがおかしい。だから、人が集まる町づくりを力を入れてください。」と真剣なまなざしで話した。続けて「イベントで誕生した6組のカップルに僕は入ってないんですけど...」わかりました。

不思議な魅力いっぱい森満章浩29歳、恋人探し真っ只中!青年団員も募集中!

編集後記

●運動会シーズンも終盤に近づき、体のあちこちが悲鳴を上げている今日この頃…。皆さんは荒ケガなどせずに無事に乗り切れそうですね?私、限界です…。でも、もうひと踏ん張り!頑張りましょう。

●秋。食欲の秋・文化の秋・スポーツの秋、そして、読書の秋。皆さんはどのような秋を満喫されますか?本町でも文化祭や生涯学習大会、いきいき秋まつりなど、いろいろなイベントが目白押しです。ぜひ、錦江町の秋を楽しんでください。

●運動会のビデオ撮影。家族内で係になった方は、西に東に走り回り、プログラムを逐一確認し、うまく撮れてるか不安を抱え...運動会が終わったところは大きな疲労感に包まれているのではないのでしょうか?うちのビデオ係は二年連続でレンズキャップを外し忘れるという失態を犯し、途中真っ黒な映像だけが寂しげに流れています…。来年こそはしっかり頼むぞ姉貴!